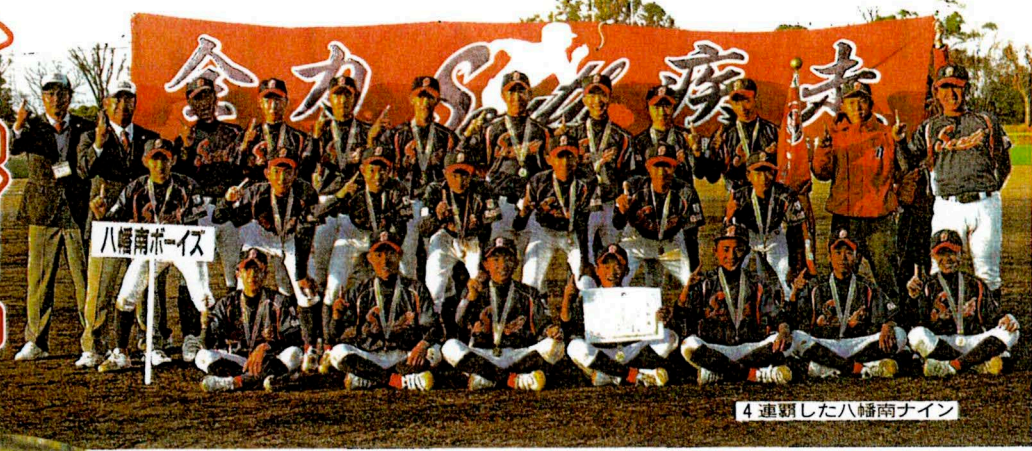


4年連続の春切符!!



報知ボーイズリーグ

八幡南



4年連続した八幡南ナイン

第53回春季全国大会支部予選

来年3月26、31日に東京などで開かれる「第53回春季全国大会」中学生の部の予選が各支部で行われ、出場チームが次々に決まっています。北九州支部は八幡南ボーイズが4年連続7度目、西九州支部は西松ボーイズが2年連続6度目の春切符をつかんだ。ともに全国常連チームで、予選で実力を発揮した。福岡県南支部予選は4強が出そろい、福岡福津ボーイズなどが準決勝に進出した。

(冒削 大輪)

【中学】北九州支部予選
準決勝、決勝
(3日・本城球場)

▼決勝
八幡南 1 0 0 0 2 4 11
山口 0 0 0 0 1 0 1 3
【南】梶原、柿原、柴田翔、本間
【山】柳井、三浦、松村、丸谷
本塁打：坂野(山)▽三塁打：古賀(南)▽二塁打：葉山、柴田翔(南) 坂野(山)

百賀打線リード

八幡南は決勝で山口に11-3と大勝した。1番の古賀湧大を起点に葉山正汰ら中軸につなぐ打線が活発で、スクイズなど小技もきっちり決めて得点を重ねた。

4番・葉山勝負強く先制打

4番の葉山は好機で勝負強かった。初回は2死三塁から中前に先制打を放ち、「いいところに飛ばして得点につなげたかった」と笑顔。6回にも2点二塁打を放った。四球で出塁した5回は一塁に進み、本間太期のスクイズで三走に続いて生還。チームに勢いを与える2ランスクイズとなり「足は速い方がいい」と陳が



決勝の5回、古賀のスクイズで二塁から生還した八幡南・葉山



準決勝の4回、ピンチを切り抜けて喜ぶ八幡南・柴田翔

あったので狙った」と振り返った。大会を通して左右4人の投手陣は安定しており、全4試合で計8失点だった。右腕の柴田翔は準決勝の宇部戦で、4回1死満塁のピンチで登板すると後続を打ち取ってチームに流れを呼び込んだ。2死走者なしから逆転勝ちしたようにチームには粘り強さもある。投打が噛み合い、こうしたチームの良さも発揮できれば、全国制覇も決して夢ではない。



決勝の7回、3点二塁打を放ち笑顔の八幡南・古賀

あるぞ全国制覇

古賀も監督代行の評価は高く、「良い投手がいるので全国でも(上を)狙える」と話す。

▼1回戦

八幡南	0	0	1	10
小倉東・戸畑合同	0	0	0	0
(4回コールド)				
【南】柴田翔、梶原、内木場、本間				
【小】岩田、奥、薄▽三塁打：葉山(南)▽二塁打：古賀、成田				

▼2回戦

小倉	0	0	0	0	3	0
八幡南	1	0	1	0	0	0
【小】田中、橋本、橋本、田中【南】						
内木場、柴田翔、本間▽三塁打：柴田翔(南)						

▼準決勝

宇部	1	0	0	0	1	0
八幡南	0	0	0	0	0	3
【宇】磯谷太、林、配川【南】内木場、柴田翔、本間▽三塁打：葉山(南)						

▼決勝

八幡南	1	1	0	0	2	14
山口	0	0	1	0	1	0
【南】梶原、柿原、柴田翔、本間						
【山】柳井、三浦、松村、丸谷▽本塁打：坂野(山)▽三塁打：古賀(南)▽二塁打：葉山、柴田翔(南) 坂野(山)						